

業種／金融業・保険業

主な事業内容／国内リース事業、国内オート事業、スペシャルティ事業、国際事業

(変更後) 国内リース事業、オートモビリティ事業、スペシャルティ事業、国際事業、環境インフラ事業

従業員数／7,878人(2023年3月末時点)

分散保管と女性視点の備蓄

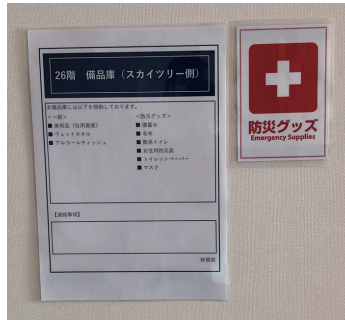
3.11東日本大震災で災害対策の課題が一気に顕在化し、歴代の総務部が試行錯誤しながら、備蓄品や災害対応体制の整備、向上に努めてきた。

●移動の混乱を避ける分散保管

災害時に、エレベーターを使うことができないリスクを考慮し、複数階のフロア間の移動による混乱や負担・ストレスを最小限に抑えるため、複数階に分散し保管している。保管場所には視認性を高めるマークを掲示している。



オフィスへの通路の備品庫



扉掲示

●女性視点の備蓄品

肉体的および精神的ストレスを軽減できるよう、女性視点に立った備蓄を進めている。今後はオフィス内での待機の際、プライバシーに配慮した対策を進めていく。

寄贈による食品ロス削減

食品ロスの削減に努めている。備蓄食料品の多くが5年で賞味期限となり、入れ替えが必要となる。2011年から備蓄を開始し、2016年の1回目の更新では期限前にフードバンクに寄贈して、廃棄を最小限に抑えた。この時、飲料水の引取り先を見つけれなかったが、2021年の2回目の期限前には「クラダシ」(ショッピングサイト)に水も含めて引渡しでき、全品廃棄することなく入替を完了できた。



フードバンクかながわ



女性用生理用品を備蓄



2フロア分の水を備蓄する保管庫



2フロア分の毛布と水を備蓄する保管庫